

面目ない事：代表質問で答える言葉なくうなずく議長、「隣の大陸から」との発言を聞き間違えたか非公開会合で、長男秘書官就任に空気読めずとの声あり

9月28日のゼミは、マルクス『資本論』第3巻第46章「建設地地代。鉱山地代。土地価格」・第47章「資本主義的地代の創世記」を高田の報告で行いました。大地に住むことを許す権利：建設地地代、土地所有が貢納を要求、鉱山地代は農耕地代と同様。特別な属性がある土地には独占価格。資本還元された地代が土地価格を形成。より高度の社会構成体：人間による私的所有は地球の私的所有・馬鹿げたものに。大地そのものが生産用具・大地は絶えず改良される。一定の期間領主の農地で無償労働・労働地代、本源的形態、社会的関係が定常状態・慣習・神聖化。生産物地代への転化：経済学的には本質変えないが、直接的生産者に相違を生み、他人労働の直接搾取の可能性へ。貨幣地代は生産物地代からの転化形態、生産物の一部が商品に転化、一定の社会的生産力の発展が必要。自由な農民所有への転化へ、または資本主義的借地農業経営へ。農民と土地所有者の伝統・慣習から純粋な貨幣関係へ転化。資本還元された土地価格の設立、土地譲渡の可能性へ。分益制度：古い土地共有・共同耕作のなごり、国家・私人が横奪へ。分割地所有で農民は自由な所有者・自営農民。大工業による人間と土地の自然力の破滅・荒廃。討論では、アメリカでは白人が土地を略奪し個人経営の大規模農業で季節労働者を使っていた、今は機械化。欧州で分益制度は生産物地代の主要な形態、「種」を貸す領主経営で、フランスで小農が分割地耕作、日本では共同体で「種」を分け水田稲作で自立している。「創世記」には終末期を予告し、1巻24章との関連で収奪者が収奪される：人間と土地破壊、環境論へ。ロックによる労働と所有・耕した土地は俺のもの(私有財産)、対するアメリカインディアンの共同地→白人の手に。原発予定地への建設会社による土地買占め、買い手の空き地、地下所有権の問題＝大深度。土地地代の研究が手薄。出席は、小野さん、高島さん、川口さん、松村さん、山口さん、竹内さん(Zoom)、後藤さん(Zoom)と高田の8名でした。

\* 10月12日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 821 6474 0334 パスコード: 074238

\* 10月12日ゼミは、芦田本の5章と6章を報告します。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

10月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅱ部 5・6章 報告 川口さん

10月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

マルクス『資本論』3巻7編48章 三位一体的定式 報告 小野さん

11月9日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅲ部 1・2章 報告者未定

その後 11/23, 12/14, 12/28 : アイクルの部屋

◇第三学科事務局/高田好章 : ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso